

高知大学第4期基幹研究プロジェクト(R4~R9年度)

研究題目: 海洋地球との共生-持続可能海洋資源利活用



プロジェクト概要・特色

◇研究目的:

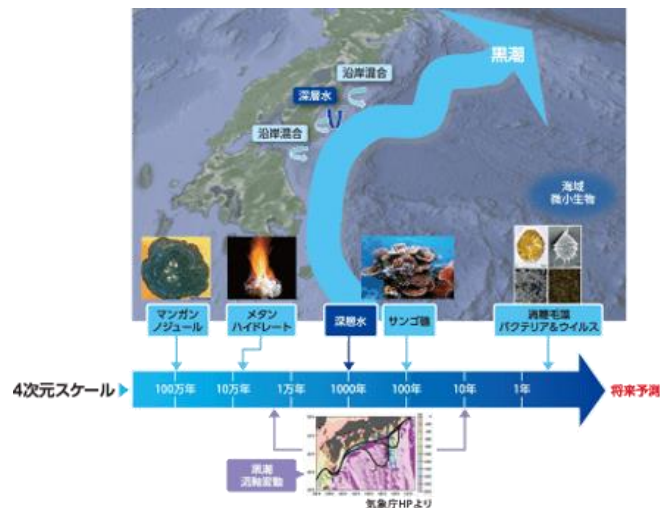
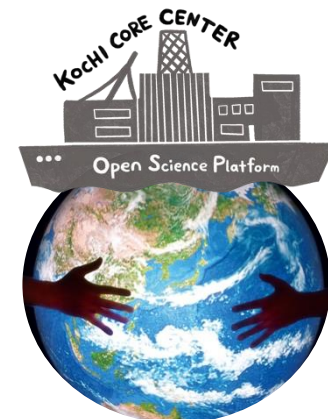
海のめぐみ(資源)を地球システムの観点から捉え、海洋地球との共生社会構築を目指した基礎・応用・実践研究を推進。

◇研究概要:

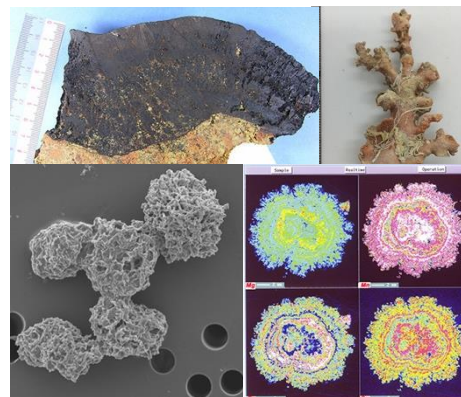
海洋地球と共生する持続発展可能地域社会を旨とし、地域の特有資源(黒潮圏の海底マンガン鉱床、地場産業を支える宝石サンゴ、鍾乳石など海洋由来の天然記念物ほか)に焦点をあて、持続可能な地域特有海洋由来資源の利活用をめざした課題探求型実践研究を推進する。



海洋コア
農林海洋
黒潮圏
理工・海洋医学
サテライト



「4次元黒潮圏資源学の創成プロジェクト」(平成28-令和2年度)では、海底鉱物・エネルギー資源、微生物・深層水資源、を時間軸上に位置づけ、物質循環・人材循環の両面から持続可能な4次元資源学の創成に取り組んできた。



レアメタルを含むクラストやノジュールの層構造は地球の気候・海洋循環史を反映し、酸化還元環境の違いが金属元素の組成に影響を与えていたこと、深海堆積物には大量の微小マンガン粒が含まれ、無機-有機相互作用が示唆されること、枯木宝石サンゴは天然由来であり計画的利用により持続可能資源になり得ること、など説明



大地の公園「ジオパーク」は、地域の自然・文化遺産を自覚し、持続可能な地域創成を住民と自治体が協働で進める取り組みで、ユネスコ世界ジオパークは、国連SDGs取組のひとつ。室戸ユネスコ世界ジオパークセンターには、自然科学リテラシーの普及と地域協働活動を推進するサテライトラボ(KICS教室)を整備済み。